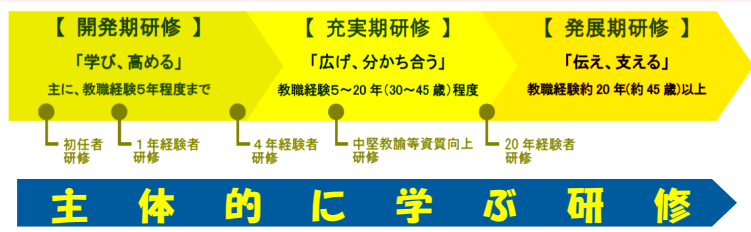




新しい研修観

総合教育センターの研修が変わりました！

～教師自らが主体的に探究的な学びをデザインする研修へ～



多様な研修等を活用して、自らの学びをデザインします。※

今回は、総合教育センターが主催する自己研鑽のための研修をいくつか紹介します。



※主体的に学ぶ研修の詳細については、当センター発行のリーフレット「令和6年度版新たな教師の『学び』に向けて」をご覧ください。

「美術・工芸の自己研鑽のための研修講座 ～つながる・ひろがる～」



美術・工芸の自己研鑽研修を3つ紹介します。まず、最初の2つは学習指導要領にもある、「地域資源の活用(地域とのつながり)」を目指した講座です。7月23日(火)実施「美術館を活用した授業づくり研修講座」(対象:小・中・高・中等・特)は県立近代美術館(葉山館)で行われます。美術作品に触れながら、美術館が行っている取組を聞くことで、新しいアイデアが見つかるはず。さらに(お天気ならば)葉山の美しい海と夕日に心が洗われます。8月8日(木)実施「【基礎講座】工芸の授業づくり研修講座」(対象:中・高・中等)は、今年度新たに立ち上げた講座です。小田原の工芸技術所を訪れ、神奈川県伝統技能の寄木細工を中心に、職人の方から講義や実習を直接指導していただきます。最後は、8月16日(金)実施「小学校図画工作の授業づくり研修講座」(対象:幼・小・特)です。昨年までは小学校・特別支援の先生が対象でしたが、今年からは幼稚園の先生も対象とし、幼小のつながりにも注目したいと考えています。校内での授業づくりにお困りの先生、さらに授業づくりの視野を広げたい先生、講習に参加することで、地域とのつながりだけでなく、人とのつながりも広げることができます。

「工業技能向上研修講座」(8月7日(水)実施、対象:小・中・高・中等・特、定員:50名)

工業分野(小学校生活科、中学校技術科含む)において必要とされる電子回路製作の基礎を学び、電子回路製作の「技術力向上」を研修の目的としています。講義・実習(5時間)で構成され、ねらいは、「電子回路製作に関する講義・実習を通して工業の授業において必要とされる電子回路製作の基礎を身に付ける。」です。内容は、「電子回路製作の基礎」で、連携大学の神奈川工科大学創造工学部教授の指導のもと、自己研鑽のための研修講座として開催される講座です。micro:bitを使用して、電子回路製作を行ないます。ぜひ、ご参加ください。



「充実期・発展期の養護教諭のための専門力研修講座」(8月21日(水)実施、対象:小・中・高・中等・特、定員:40名)

校内外の連携においてリーダーシップを発揮し、児童・生徒支援のために、組織的に学校保健活動が推進できる専門力の向上を目指すことを研修の目的とし、コンセプトは養護教諭の「専門力向上」です。本講座は、講義・実習(6時間30分)で構成され、ねらいは、「救急処置の最新の知識と技能について理解を深める。」です。

内容は、「救急処置の最新の理論と実際」です。この研修講座は、独立行政法人国立病院機構横浜医療センター救急科の医師、及び救急救命士の指導のもと、中堅養護教諭等資質向上研修講座として開催される講座ですが、経験が5年以上の養護教諭のための自己研鑽のための研修としても受講が可能です。



ぜひ ご活用ください！！

共生社会実感パッケージ

～インクルーシブ教育の実践を支援します～

体験型の授業を通して、共生社会について子どもたちと一緒に考えてみませんか？



高齢者の疑似体験

妊婦の疑似体験



振動と光によって

活用場面 授業、教員校内研修等

音の特徴を体で感じる体験

教材・教具の貸出し

視覚障がいの疑似体験



会話支援ペンを活用した
コミュニケーション体験



貸出教材・教具等を活用した実践例の提供

(左記の二次元コードからダウンロードできます)



神奈川県立総合教育センター
共生社会実感パッケージ



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/gakkoshien/kyoseishakai.html>

問合せ先 教育支援部 学校教育支援課
インクルーシブ教育支援班

LINE相談「中高生SNS相談@かながわ」を知っていますか？

年間相談件数約3500件！

「また相談したい」86.6%

満足度が高い



令和5年度に多かった相談

- 1位 友人関係
- 2位 こころの問題
- 3位 学業・進路



県内の全中高生約45万人を対象として、気軽に相談できるツールとして、多くの生徒に活用されています！



今年度のポスターと周知カードを夏休み前に配付します！（教育相談課）